第1号様式
所属進行表

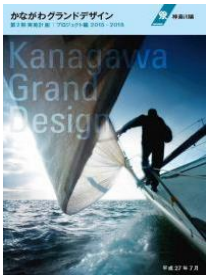
業務運営進行表

（平成28年４月１日～平成29年３月31日）

所属	局名	部名	室・課（出先機関は所属）名	所属のホームページ
	政策局	政策部	総合政策課	http://www.pref.kanagawa.jp/div/0102/

Ⅰ　業務概要

総合政策課では、県行政の総合的企画及び調整や総合計画の策定及び進行管理の総括などを行っています。
また、神奈川県科学技術政策大綱に基づき県の科学技術政策を推進するとともに、その一環として県試験研究機関が研究活動の成果として生み出す勤務発明（知的財産）の管理、活用を図っています。
さらに、大学の知的資源を県の施策に活用する方策を推進するとともに、県政における課題に関する政策研究を実施しています。



Ⅱ　支出の状況

（単位：千円）

			第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	出納整理期間	累計
事業経費	項目	(再)配当額	支出済額					
	事業費	919,915	229,891	192,411	270,076	182,774	15,358	890,510
	維持管理費							0
	計	919,915	229,891	192,411	270,076	182,774	15,358	890,510
人件費　（注１）			103,580	71,848	109,836	71,600		356,864
合計			333,471	264,259	379,913	254,373	15,358	1,247,374

（注１）人件費には職員数に共済費及び退職手当の平均単価を乗じて算出した共済費相当額（事業主負担分）及び退職手当相当額が含まれています。
（注２）各項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は一致しない場合があります。

Ⅲ　職員配置状況

	区分	４月１日	７月１日	10月１日	１月１日
配置職員数	常勤職員	33	34	34	34
	上記以外の職員	5	5	5	4
	計（人）	38	39	39	38

Ⅳ　業務実施状況

１　スピード感ある政策調整の実施

実施数

項目	年間目標（前年度実績）	実績件数				（単位：件）
		第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	累計
政策のやわらかい段階から知事と議論する仕組みの積極的な運用	7 (5)	1	7	1	0	9
クロスファンクション・ラウンドテーブルの迅速な設置	7 (5)	2	0	2	0	4

２　アグレッシブな職員提案の推進

職員が提案しやすい環境のもと、職員一人ひとりの政策立案力を活かし、職員が新しい発想で様々な課題に取り組めるよう職員提案を実施し、その優れたアイデアを政策に結びつけることにより、職員のやる気を喚起し、意欲を持って積極的に取り組む県庁を作る。

項目	年間目標	実績件数				（単位：件）
		第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	累計
職員提案による知事提案件数	140	71	0	70	0	141
（前年度実績）	134	66	15	53	0	134
「職員提案事業推進費」を活用した施策化・実現化	10	0	5	0	3	8
（前年度実績）	7	0	1	3	3	7

３　政策研究の実施状況

年度中に発生した喫緊の課題に即応して、政策形成に役立つ調査を実施し、調査内容は、実践的で活用しやすいかたちで報告する。

項目	年間目標（計画）					
		第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	累計
調査研究数	6	0	2	0	4	6
前年度実績	－	1	0	4	1	6

４　業務実績

項目	実績・進捗状況	
かながわグランドデザイン　第２期実施計画 （目標）「かながわグランドデザイン 評価報告書2015」を作成し、進行管理を行う。	第１四半期	総合計画審議会による政策評価を行い、2015年度の進捗状況を評価した「かながわグランドデザイン 評価報告書2015」を取りまとめ、県民意見募集を開始した。
	第２四半期	政策レビューを実施し、政策運営の改善の方向性を議論した。また、引き続き「かながわグランドデザイン　評価報告書2015」に関する県民意見募集を行った。
	第３四半期	引き続き「かながわグランドデザイン　評価報告書2015」に関する県民意見募集を行った。
	第４四半期	募集した県民意見、提案を検討、整理し、「かながわグランドデザイン　評価報告書2015」県民参加意見整理台帳を作成、公表した。

神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略（目標）実施した施策・事業の成果について、神奈川県地方創生推進会議等による検証も含め、評価を行い、その結果を公表する。	第１四半期	評価報告書策定に向けた庁内照会を実施。
	第２四半期	地方創生推進会議総合戦略推進評価部会を開催し、平成27年度の評価を整理した「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略　2015年度評価報告書（案）」について議論し、部会としての二次評価案を取りまとめた。
	第３四半期	地方創生推進会議において二次評価を確定し、「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略　2015年度評価報告書」を取りまとめた。
	第４四半期	地方創生推進会議において、総合戦略へのＫＰＩの追加等について議論し、ＫＰＩを追加した「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成29年３月改訂）」を取りまとめた。
県の科学技術政策の基本的な方向性を示す新たな「神奈川県科学技術政策大綱」を策定する。	第１四半期	現大綱（H24年度～H28年度）で掲げた施策について、県試験研究機関等から取組状況を調査し、その成果や課題の検証を行った。
	第２四半期	産学公の立場などを代表する有識者から構成される神奈川県科学技術会議を開催し意見聴取を行い、現大綱の検証及び新たな大綱の骨子案を取りまとめた。
	第３四半期	骨子案について県民意見募集等を実施したほか、神奈川県科学技術会議を開催し意見聴取を行い、新たな大綱の素案を取りまとめた。
	第４四半期	施策例や附属資料を整理し、議会による議決を経て３月に新たな「神奈川県科学技術政策大綱」を策定した。
平成29年４月を目途に、産業技術センターと（公財）神奈川科学技術アカデミーを統合・地方独立行政法人化し、新たなイノベーション創出支援機関として、産業技術総合研究所（産技総研）を設立するための準備を進める。	第１四半期	地方独立行政法人評価委員会において、産技総研の中期目標（骨格）の検討を行った。
	第２四半期	地方独立行政法人評価委員会における審議の上、産技総研の中期目標（素案）及び中期計画（骨格）を作成した。
	第３四半期	地方独立行政法人評価委員会における審議や議会による議決を経て、中期目標を作成した。また、評価委員会における審議の上、中期計画（案）を作成した。
	第４四半期	地方独立行政法人評価委員会において、中期計画（案）の承認を得るとともに、統合に必要なKAST評議員会の特別決議、国の設立認可を得た。（平成29年4月に産技総研を設立した。）

県内大学との連携強化と交流促進に向け、学生ポータルの活用などにより、大学との密接な連携・調整を行う。 	第１四半期	学生ポータル活用の協力を得ている大学に向けて県政情報の発信に取り組んだ。 また、県と大学との連携推進会議を実施し、学生ポータルの運用等について意見を交換した。
	第２四半期	大学組織向けに県の「大学と連携を希望する事項」に関する情報を定期的に提供する取組を開始した。また、大学生向けに各大学の学生ポータルを通じて県政情報を毎月発信した。 「かながわ発中高生のためのサイエンスフェア」を開催し、2,500名の来場者を得た。
	第３四半期	学長・知事懇談会を実施。県内大学代表者と意見交換を行った(テーマ：人生100歳時代の設計図を考える～シニアの学び直し、大学のライフキャリア教育)。
	第４四半期	横浜国立大学と包括連携協定を締結した。また、既に包括連携協定を締結している横浜市立大学及び東海大学と連携事業推進に向けた会議を実施した。
県内大学に在籍する高度専門人材を政策形成に活かすため、大学発・政策提案制度を運用する。 	第１四半期	政策提案を募集した結果、13件（10大学）の応募があった。公開コンペに向けた予備審査を実施し、７件（７大学）が通過した。
	第２四半期	「大学発・政策提案制度」による公開コンペを実施。３件（３大学）の提案が採択された。
	第３四半期	採択された提案について大学と県事業課で平成29年度の事業化に向けた調整を行った。
	第４四半期	平成29年度提案募集にかかる募集要項説明会を実施するとともに、提案についての事前相談を実施した。

Ⅴ　業務運営に関する評価

所属長評価	第１四半期	関係箇所と調整を行い、年間目標に対して順調に進捗している。
	第２四半期	神奈川県科学技術会議を開催し新たな大綱の骨子案を取りまとめるなど、年間目標に対して概ね順調に進捗している。
	第３四半期	「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略　2015年度評価報告書」を取りまとめるなど、年間目標に対して概ね順調に進捗している。
	第４四半期	「神奈川県科学技術政策大綱」を策定するなど年間目標に対して順調に進捗している。
	総合評価	年間を通じて、適切な業務運営を行った。

連絡先（電話番号）	045-210-3056